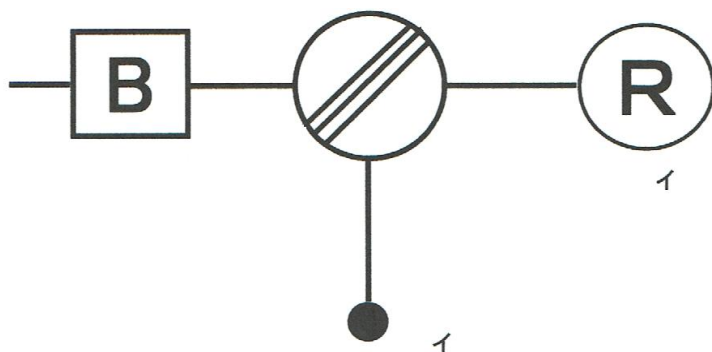


複線図の書き方 1

1個の照明器具を片切スイッチで入り切りするものです。

単線図



器具の絵は決まっています。
自分が解るものを使いましょう
早く書けるものを使いましょう
配線は1色で書きましょう。
早く書くのが目的です。
色分けは好きに書きます。

ク(黒)

シ(白)

ア(赤)

ミ(緑)

B(ブラック)

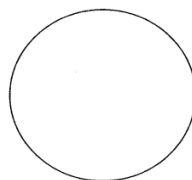
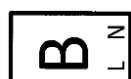
W(ホワイト)

R(レッド)

G(グリーン)

正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。



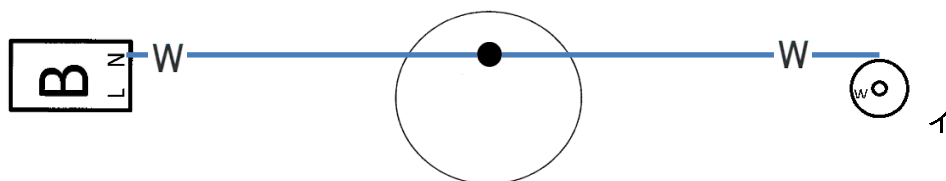
イ



イ

② 白線指定分を引きます。

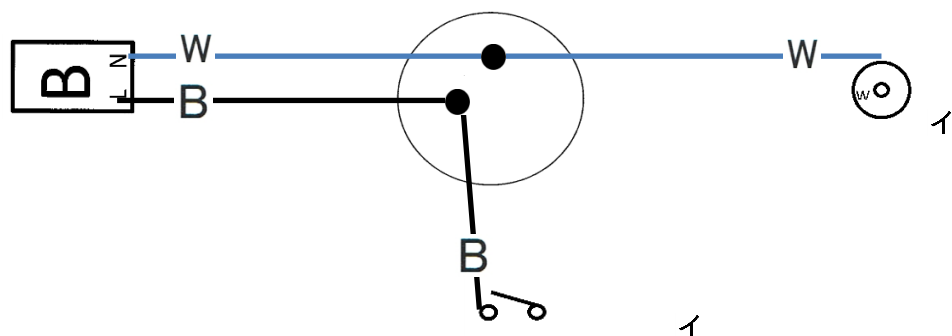
配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部まで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に白色表示を入れます。



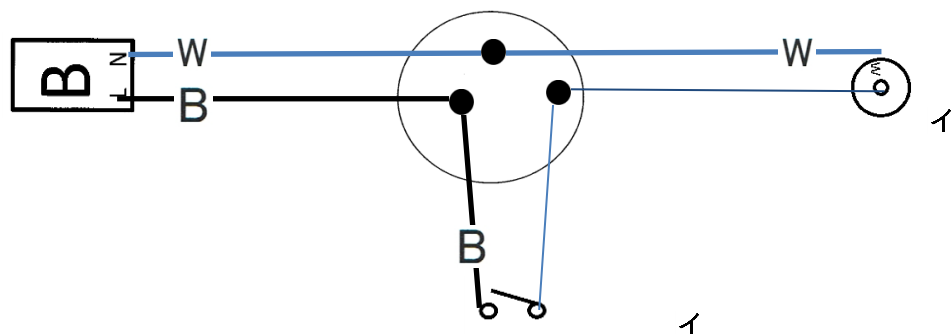
イ

③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から片切スイッチまで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に黒色表示を入れます。

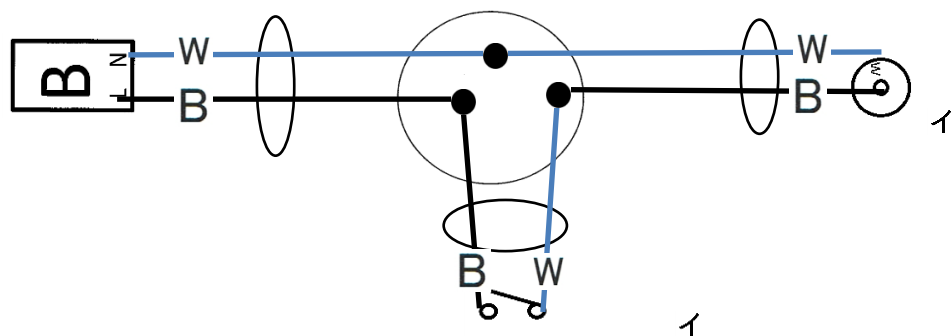


④残りを引きます。



⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

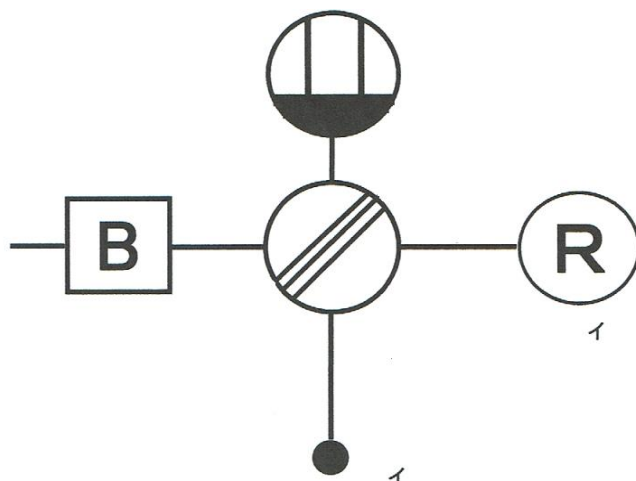
ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。



複線図の書き方 2

1個の照明器具を片切スイッチで入り切りする物にコンセントを追加しました。コンセントは常時電源が届いていないといけません。

単線図



器具の絵は決まっています。

自分が解るものを使いましょう

早く書けるものを使いましょう

配線は1色で書きましょう。

早く書くのが目的です。

色分けは好きに書きます。

ク(黒)

シ(白)

ア(赤)

ミ(緑)

B(ブラック)

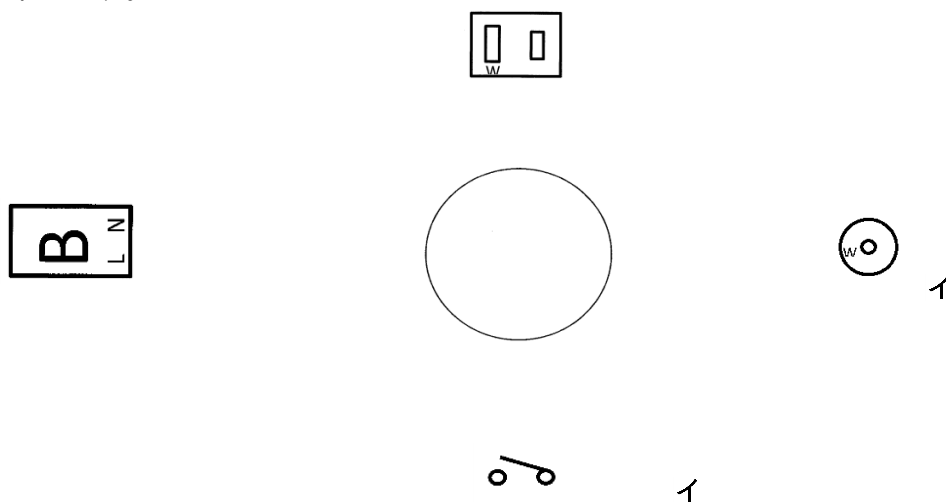
W(ホワイト)

R(レッド)

G(グリーン)

正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。

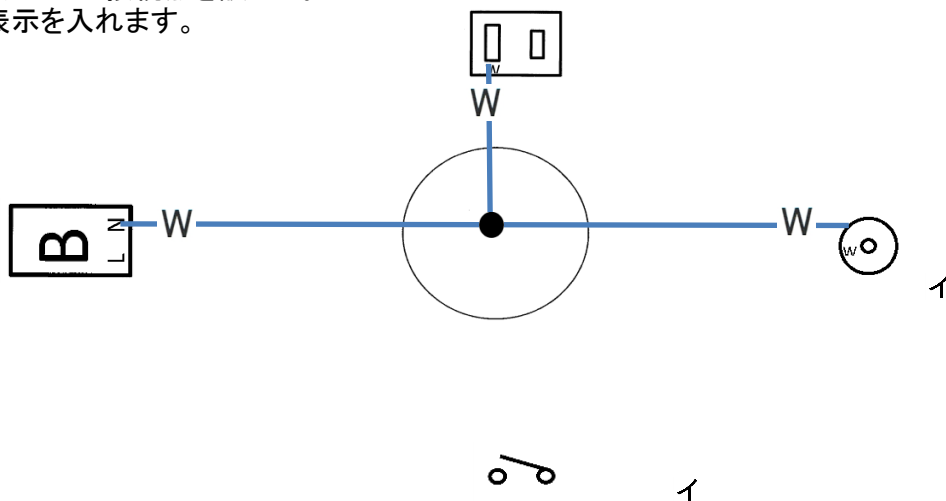


② 白線指定分を引きます。

配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部とコンセントのW側まで引き

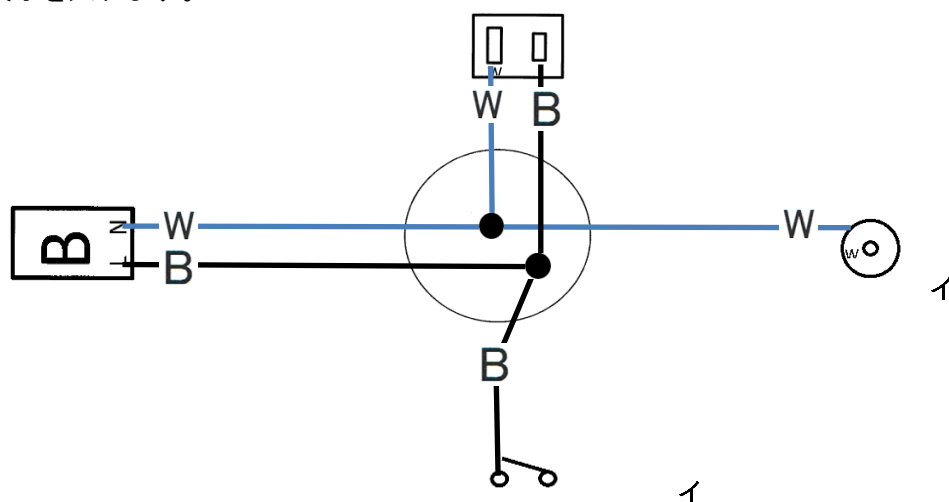
ジョイントボックスでは接続点を設ける。

同時に白色表示を入れます。

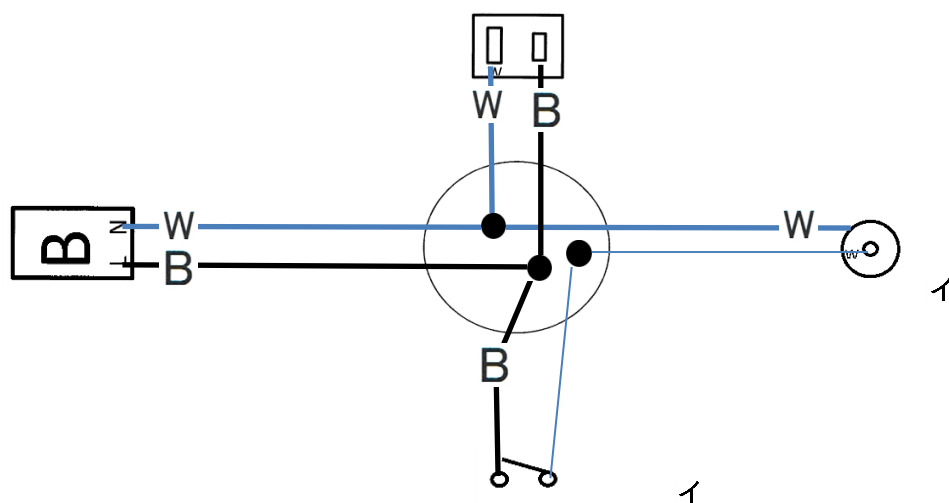


③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から片切スイッチ、コンセントまで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に黒色表示を入れます。



④残りを引きます。

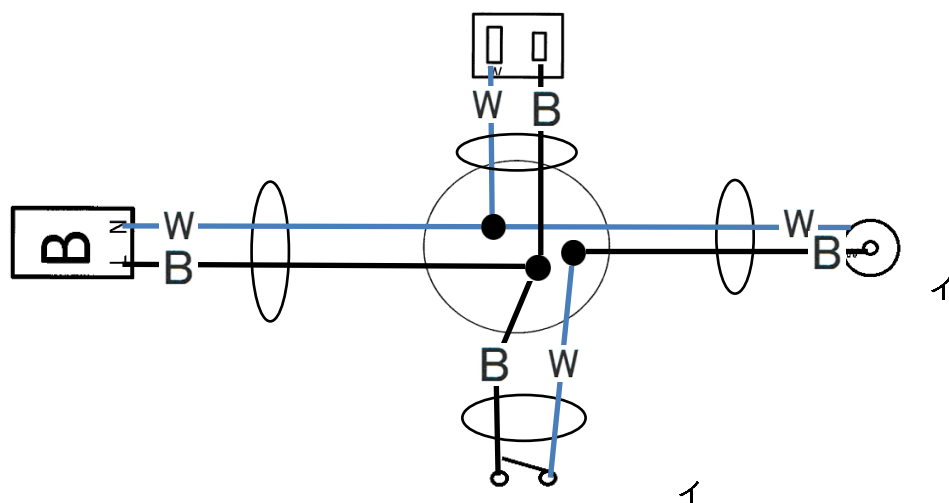


⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。

途中ジョイントされていてもコンセントのW側には白線だけで配線されている必要が有ります。

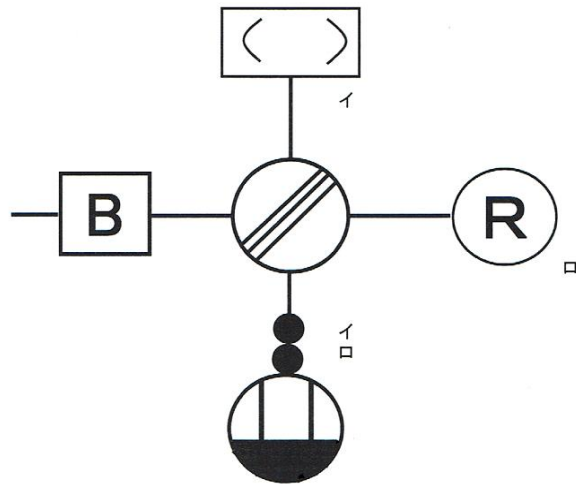
同じように途中ジョイントされていてもコンセントの黒線側には黒線だけで配線されている必要が有ります。



複線図の書き方 3

2個の照明器具を2個の片切スイッチで入り切りする物にコンセントを1個と片切スイッチに連用取り付け枠で配置したものです。(渡り線の色に注意ください。)

単線図



器具の絵は決まっていません。
自分が解るものを使いましょう
早く書けるものを使いましょう
配線は1色で書きましょう。
早く書くのが目的です。
色分けは好きに書きます。

ク(黒)

シ(白)

ア(赤)

ミ(緑)

B(ブラック)

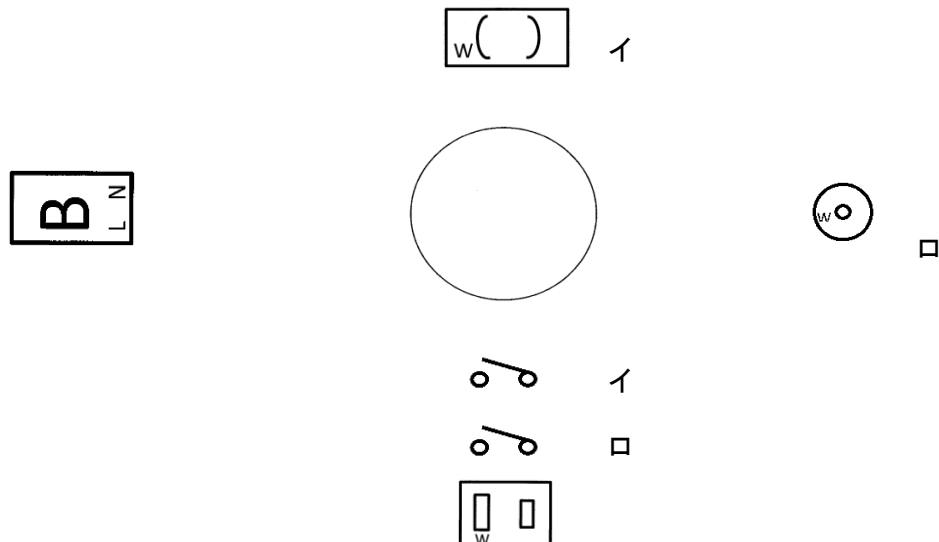
W(ホワイト)

R(レッド)

G(グリーン)

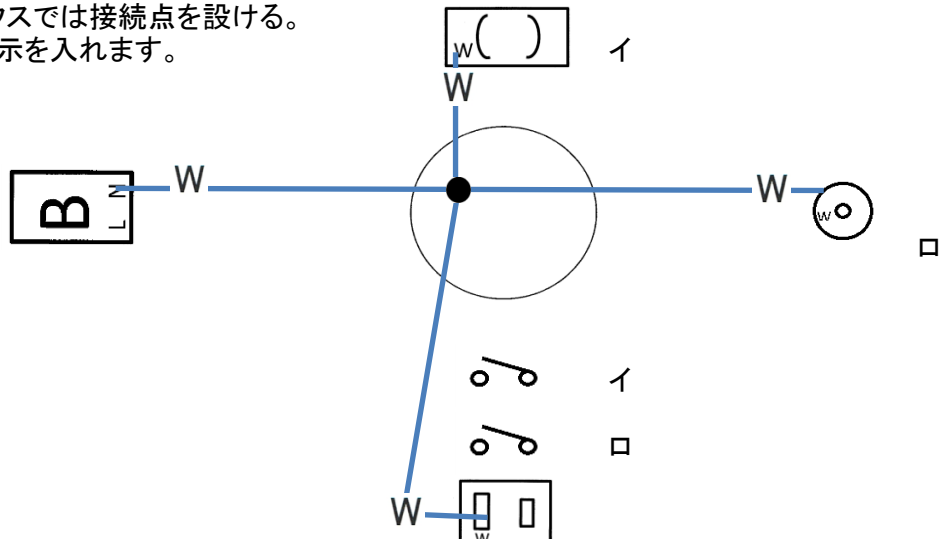
正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。



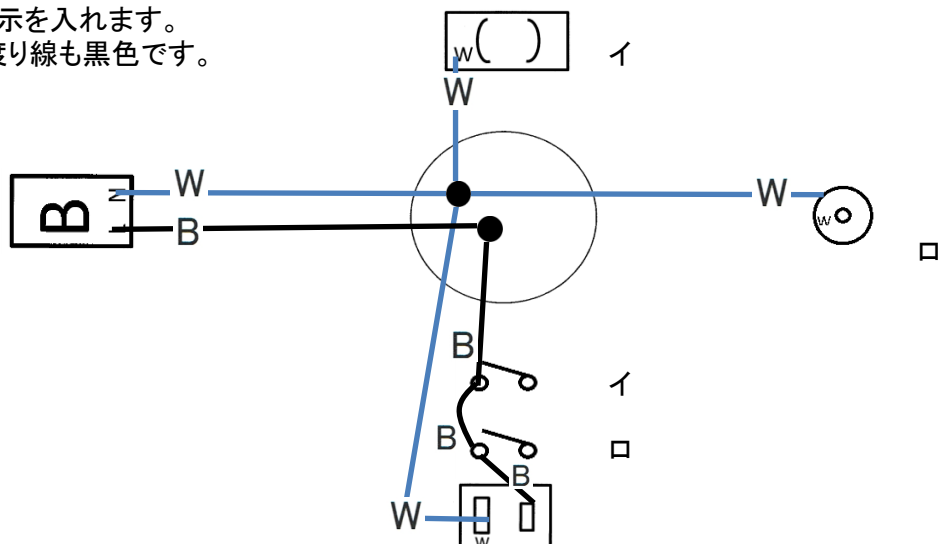
② 白線指定分を引きます。

配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部、引掛シーリング、コンセントのW側まで引き
ジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に白色表示を入れます。

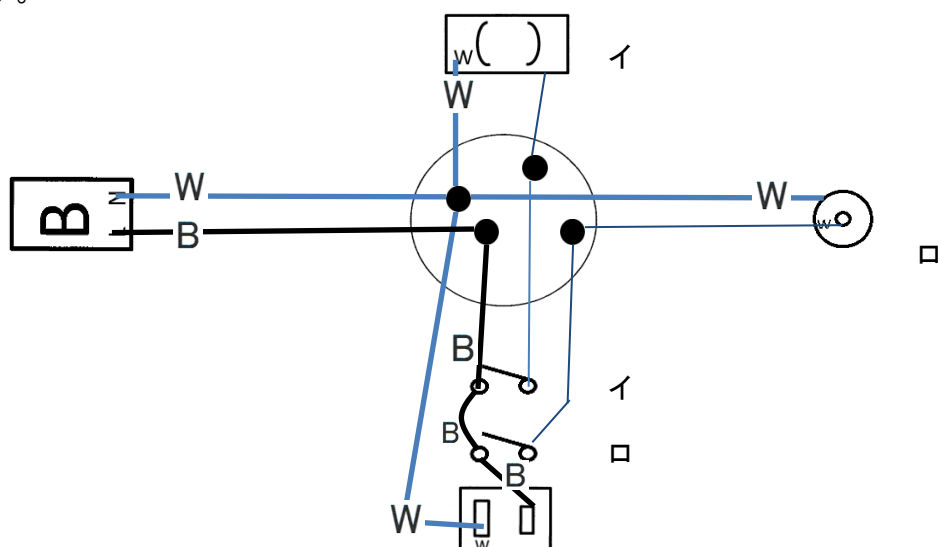


③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から片切スイッチ、コンセントまで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に黒色表示を入れます。
スイッチ部の渡り線も黒色です。

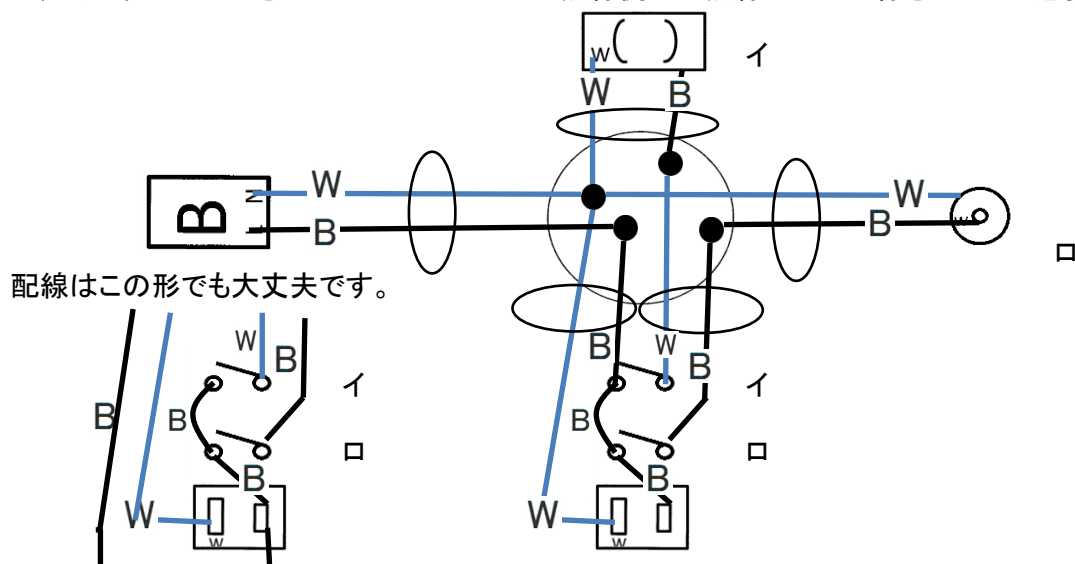


④残りを引きます。



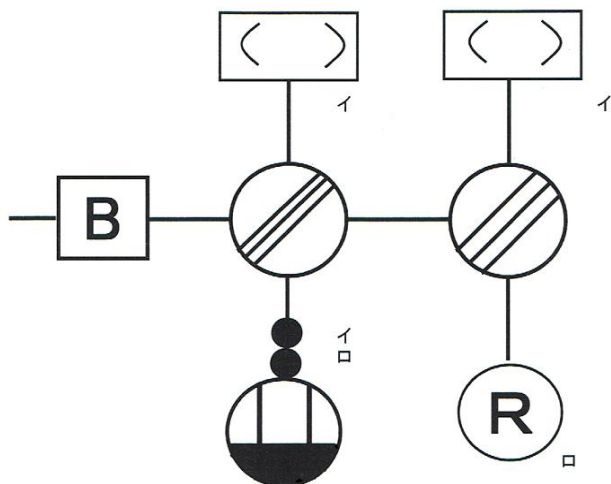
⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。
途中ジョイントされていてもコンセントのW側には白線だけで配線されている必要が有ります。
同じように途中ジョイントされていてもコンセントの黒線側には黒線だけで配線されている必要が有ります。



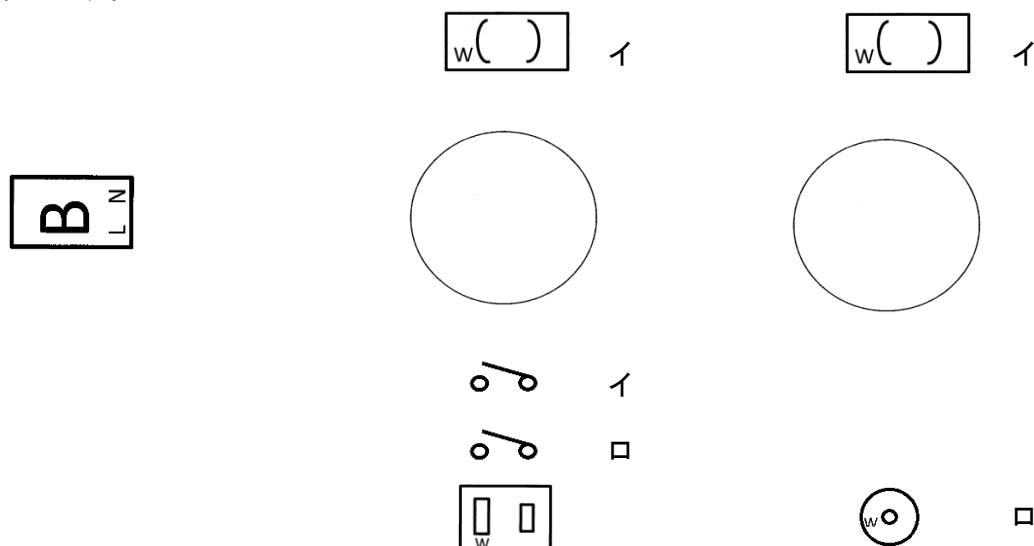
複線図の書き方 4

2個の片切スイッチで照明器具を入り切りしますが、片方の照明器具は2個同時に動作する物です。
同時に点滅する器具は非接地側の電線も繋がっていないといけません。
ジョイントボックスが2か所でこの間の配線も有ります。色にも注意してください。
単線図



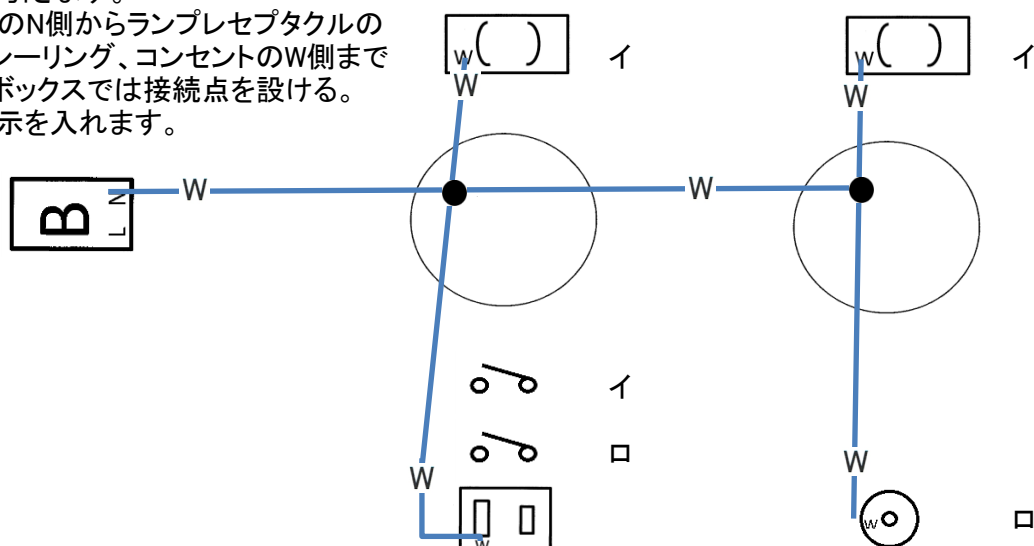
器具の絵は決まっています。
自分が解るものを使いましょう
早く書けるものを使いましょう
配線は1色で書きましょう。
早く書くのが目的です。
色分けは好きに書きます。
ク(黒)
シ(白)
ア(赤)
ミ(緑)
B(ブラック) 
W(ホワイト) 
R(レッド) 
G(グリーン) 
正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。



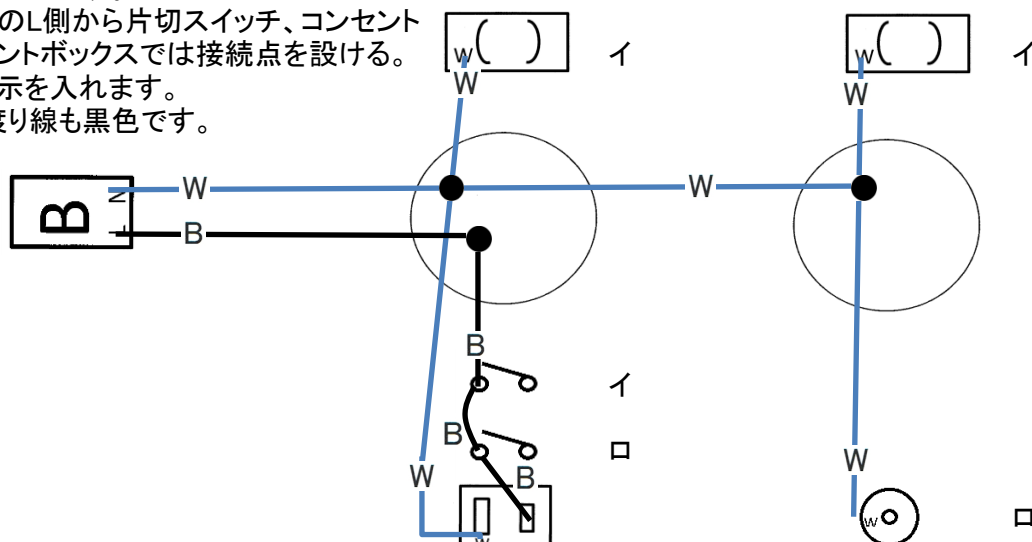
② 白線指定分を引きます。

配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部、引掛シーリング、コンセントのW側まで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に白色表示を入れます。



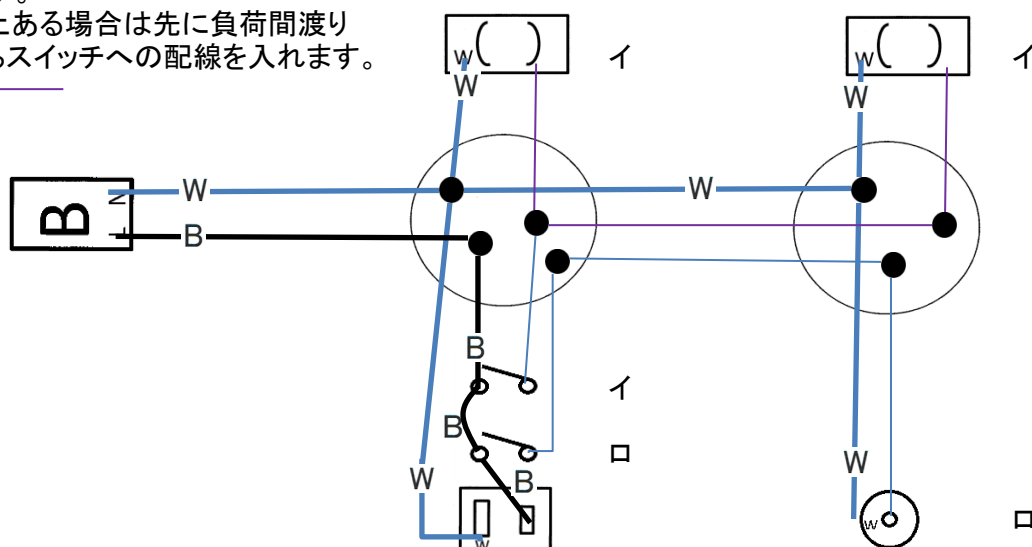
③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から片切スイッチ、コンセントまで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に黒色表示を入れます。
スイッチ部の渡り線も黒色です。



④残りを引きます。

負荷が2個以上ある場合は先に負荷間渡りを配線してからスイッチへの配線を入れます。

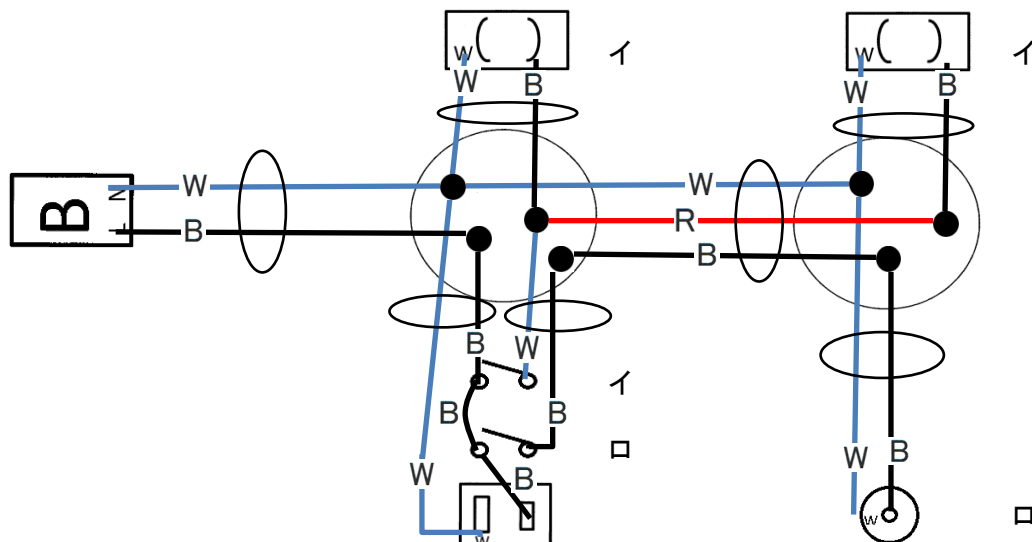


⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。

途中ジョイントされていてもコンセントのW側には白線だけで配線されている必要が有ります。

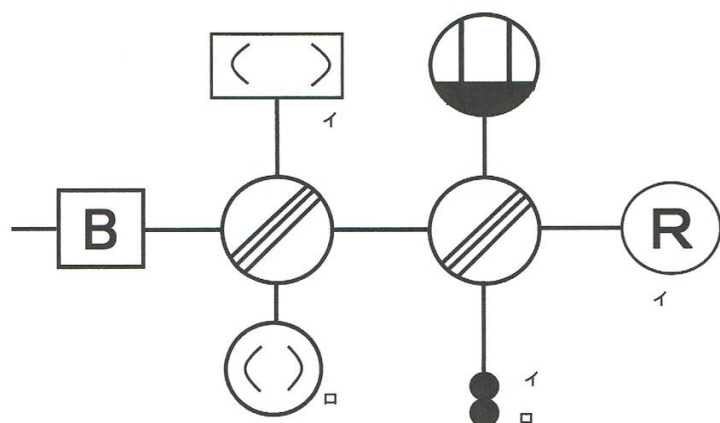
同じように途中ジョイントされていてもコンセントの黒線側には黒線だけで配線されている必要が有ります。



複線図の書き方 5

4の例題で片切スイッチとコンセントが配線用遮断器より遠い位置のジョイントボックスに移動しています。
この事でジョイントボックス間の配線が2心2本のケーブルに成っていることを理解ください。

単線図

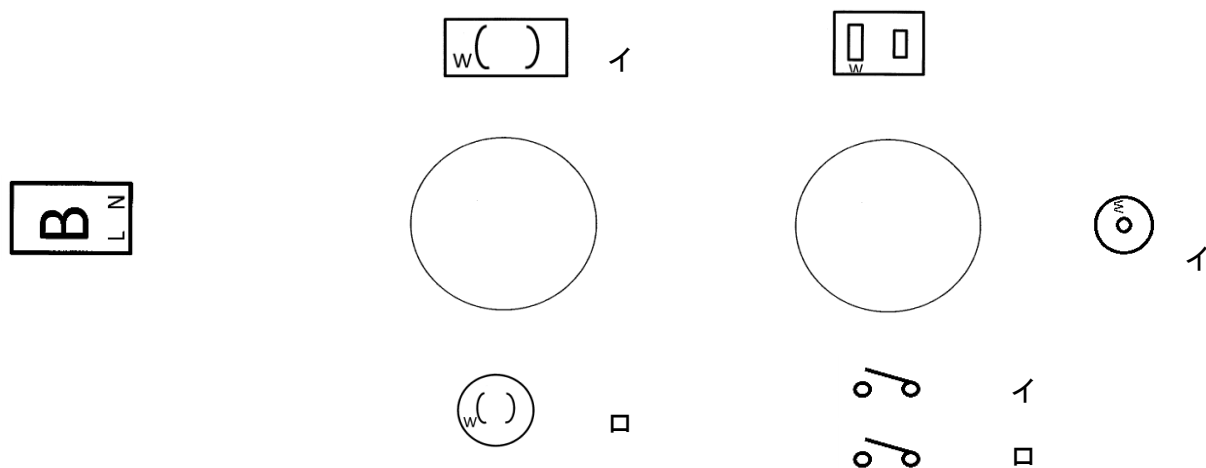


器具の絵は決まっていません。
自分が解るものを使いましょう
早く書けるものを使いましょう
配線は1色で書きましょう。
早く書くのが目的です。
色分けは好きに書きます。

ク(黒)
シ(白)
ア(赤)
ミ(緑)
B(ブラック) 
W(ホワイト) 
R(レッド) 
G(グリーン) 

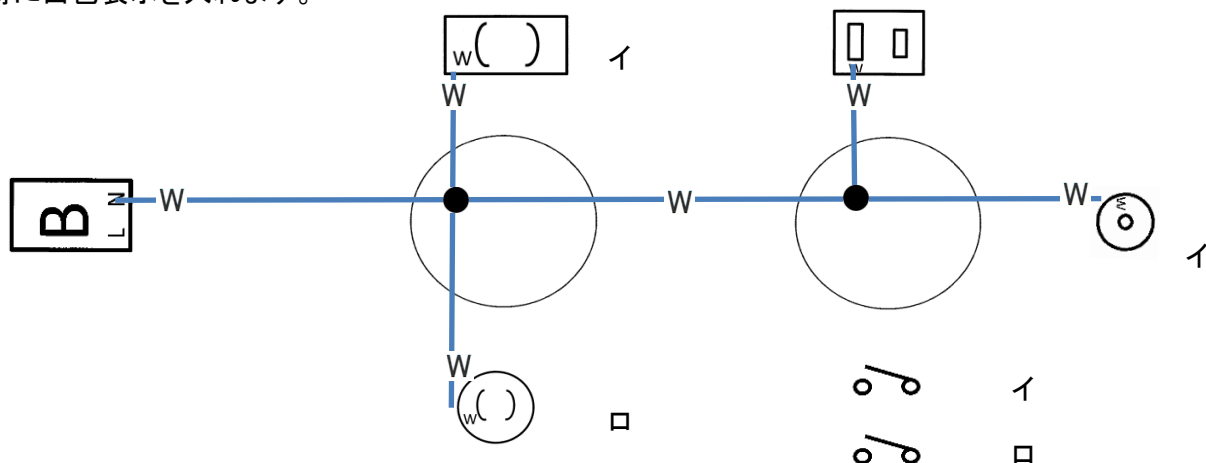
正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。



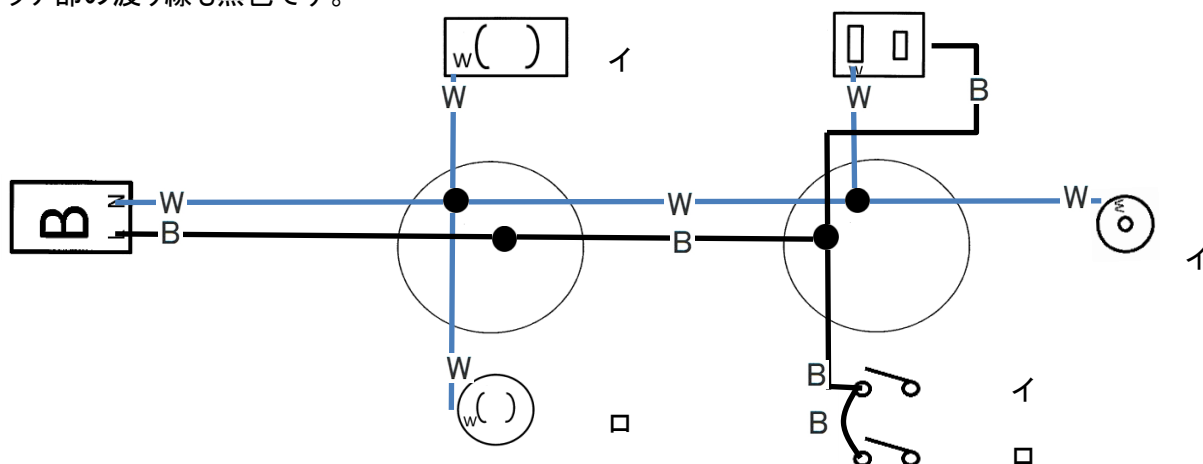
② 白線指定分を引きます。

配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部、引掛シーリング、コンセントのW側まで引き
ジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に白色表示を入れます。



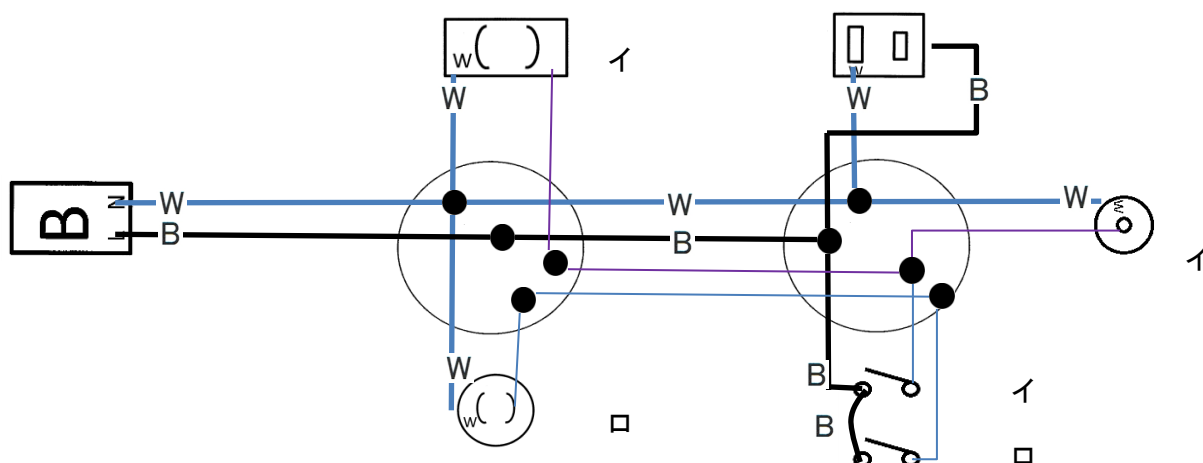
③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から片切スイッチ、コンセントまで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に黒色表示を入れます。
スイッチ部の渡り線も黒色です。



④残りを引きます。

負荷が2個以上ある場合は先に負荷間渡りを配線してからスイッチへの配線を入れます。

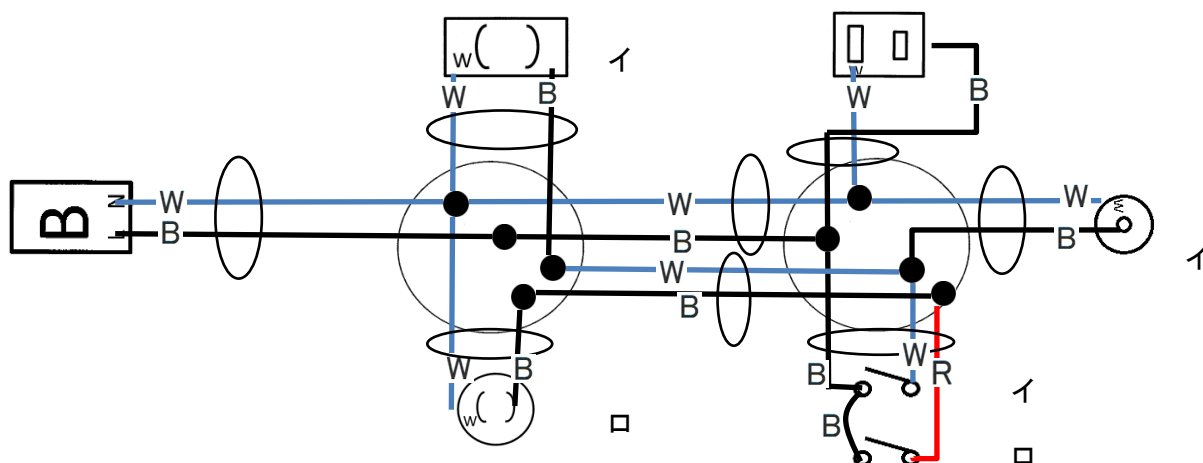


⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。

途中ジョイントされていてもコンセントのW側には白線だけで配線されている必要が有ります。

同じように途中ジョイントされていてもコンセントの黒線側には黒線だけで配線されている必要が有ります。

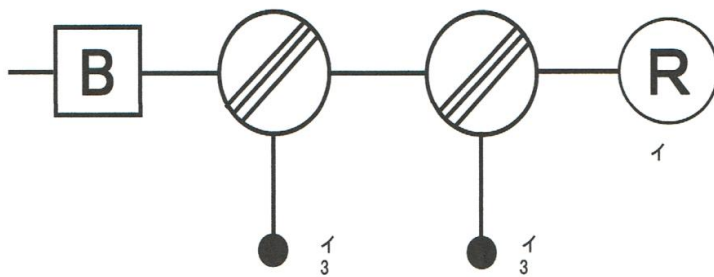


複線図の書き方 6

三路スイッチ2個で2か所から1個の照明器具を入り切りする物です。

三路スイッチは0番に入る電線が重要ですので理解ください。(0番は二重丸で表現しています。)

単線図



器具の絵は決まっています。

自分が解るものを使いましょう

早く書けるものを使いましょう

配線は1色で書きましょう。

早く書くのが目的です。

色分けは好きに書きます。

ク(黒)

シ(白)

ア(赤)

ミ(緑)

B(ブラック)

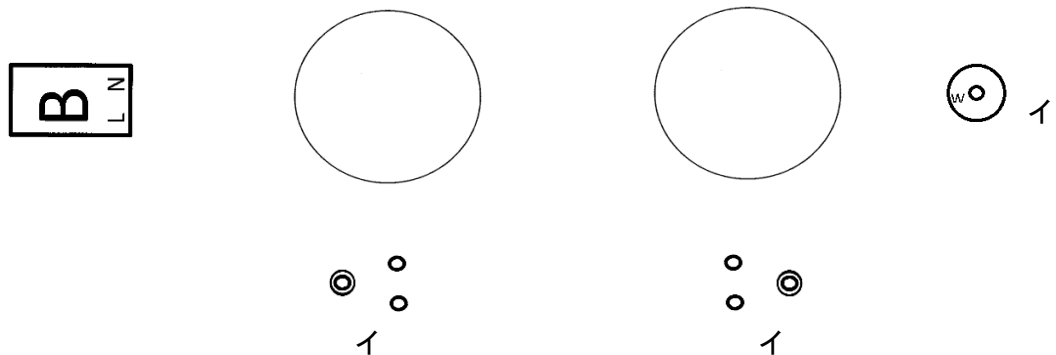
W(ホワイト)

R(レッド)

G(グリーン)

正しく、そして早く書きます。

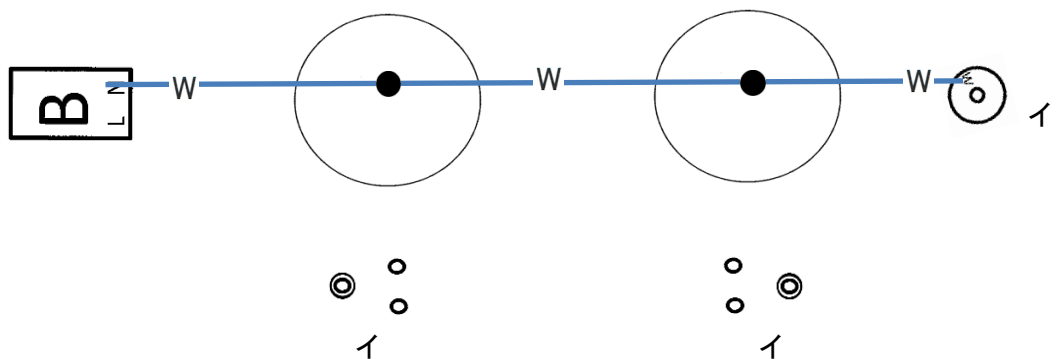
① 先ず器具を配置します。



② 白線指定分を引きます。

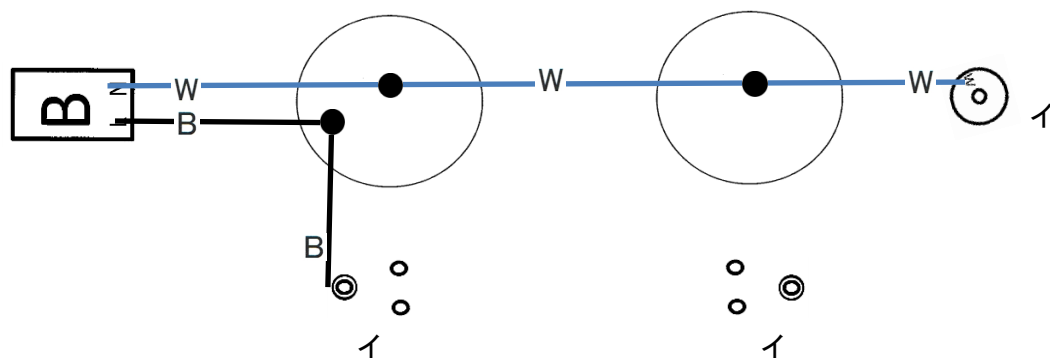
配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部、まで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。

同時に白色表示を入れます。



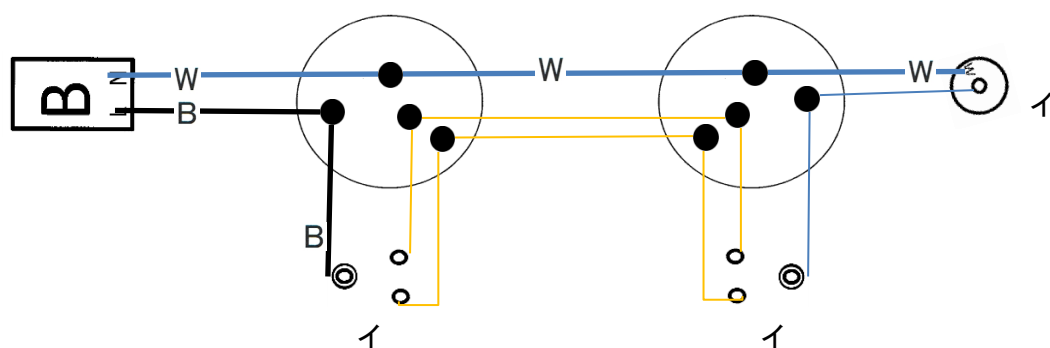
③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から三路スイッチの0番まで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に黒色表示を入れます。



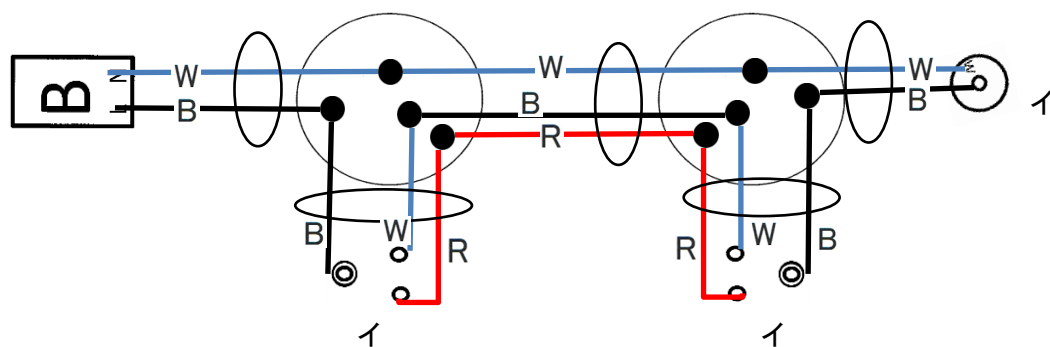
④残りを引きます。

三路スイッチの1番3番間を直接接続します。(1と3が逆に成っても大丈夫です。)



⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。



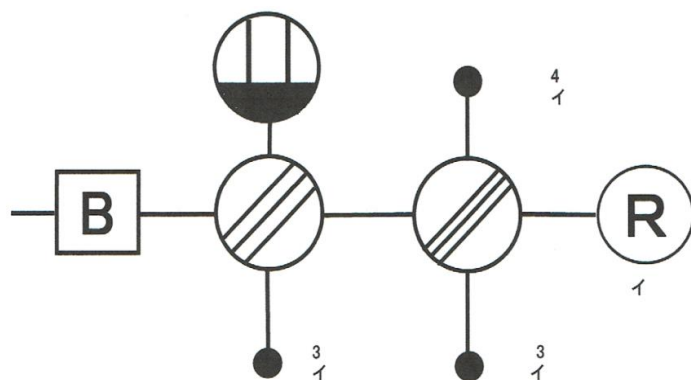
複線図の書き方 7

三路スイッチ2個と四路スイッチ1個で三か所から1個の照明器具を入り切りする物です。

4路スイッチは2個の3路スイッチ間の配線の中間に入ります。

コンセントも有ります。常時電源が届いていないとダメなことを忘れないでください。

単線図



器具の絵は決まっています。

自分が解るものを使いましょう

早く書けるものを使いましょう

配線は1色で書きましょう。

早く書くのが目的です。

色分けは好きに書きます。

ク(黒)

シ(白)

ア(赤)

ミ(緑)

B(ブラック)

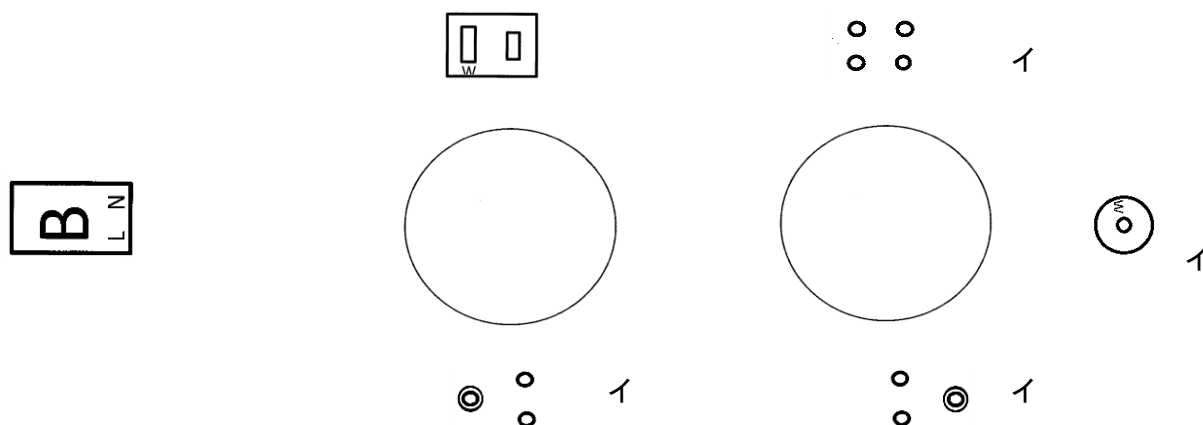
W(ホワイト)

R(レッド)

G(グリーン)

正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。

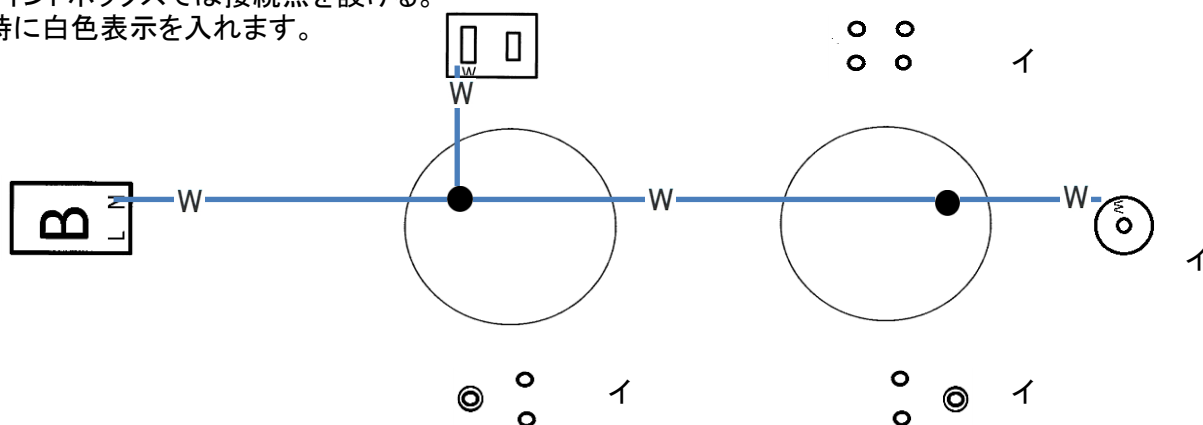


② 白線指定分を引きます。

配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部、コンセントのW側まで引き

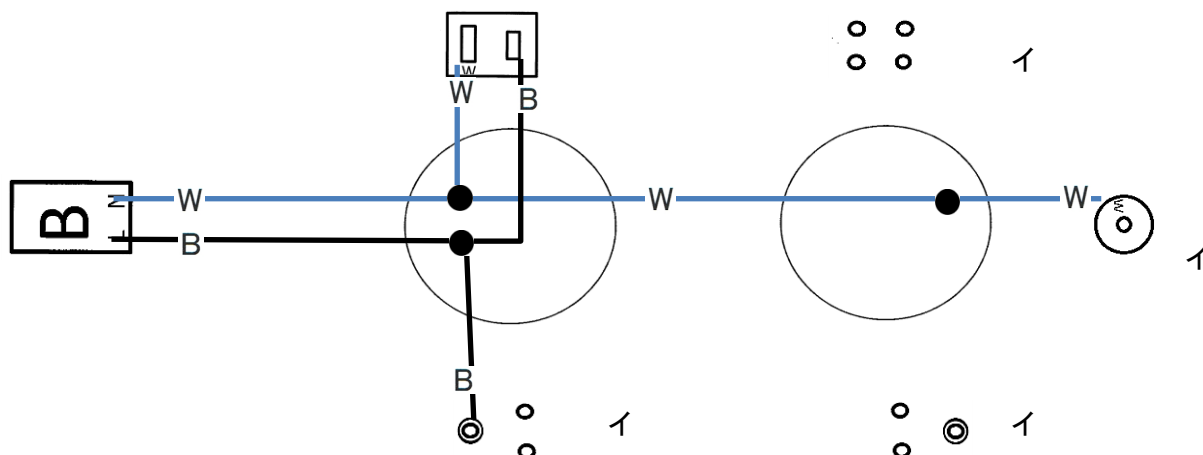
ジョイントボックスでは接続点を設ける。

同時に白色表示を入れます。



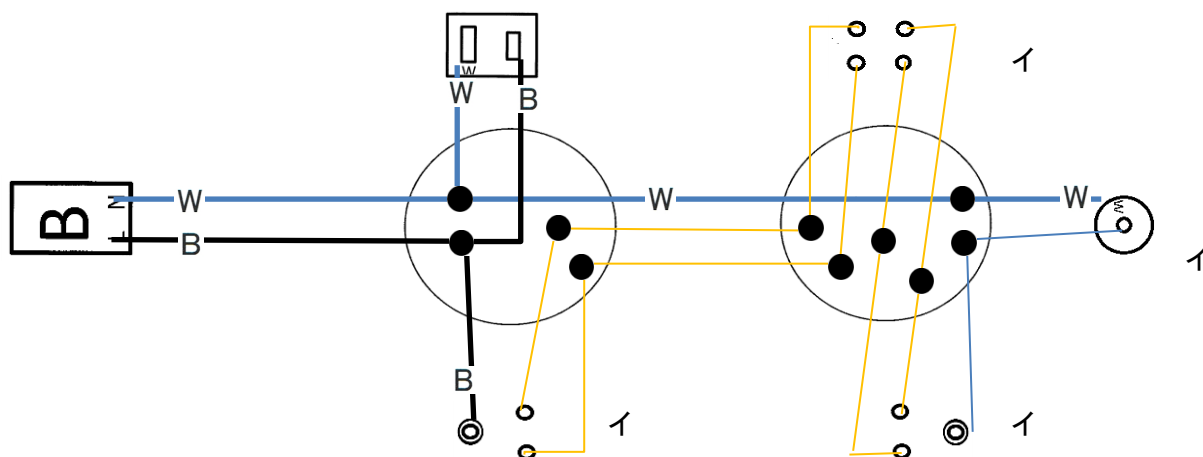
③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から三路スイッチの0番とコンセントへ引きジョイントボックスでは接続点を設定する。
同時に黒色表示を入れます。



④残りを引きます。

三路スイッチ、四路スイッチの1、3間2、4間を直接接続します。(1、3と2、4が逆に成っても大丈夫です。)

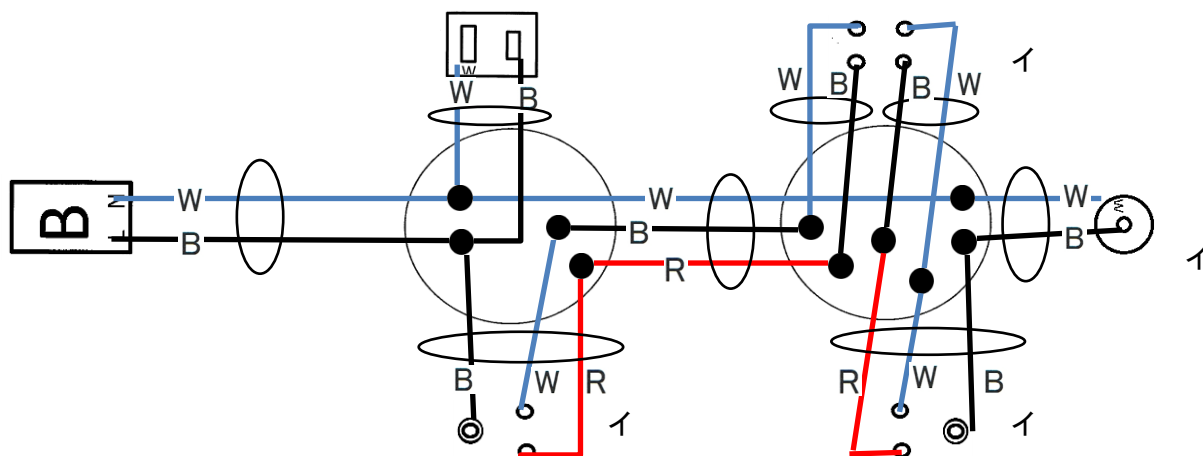


⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。

途中ジョイントされていてもコンセントのW側には白線だけで配線されている必要が有ります。

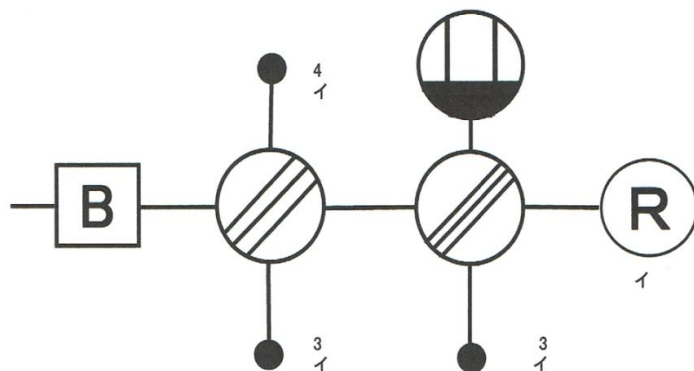
同じように途中ジョイントされていてもコンセントの黒線側には黒線だけで配線されている必要が有ります。



複線図の書き方 8

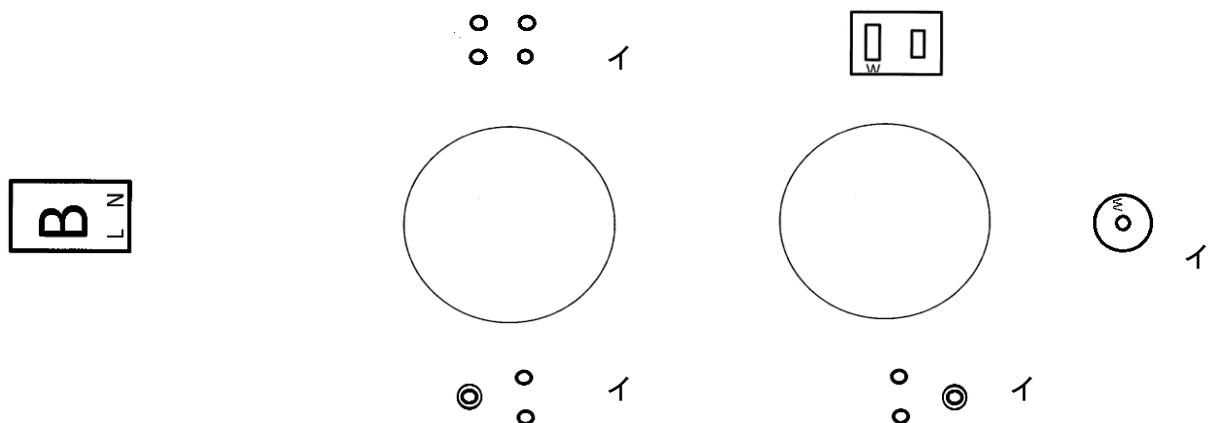
例題7の四路スイッチとコンセントの配置が変更になりました。
この事でジョイントボックス間の配線が変更になる事を理解ください。

単線図



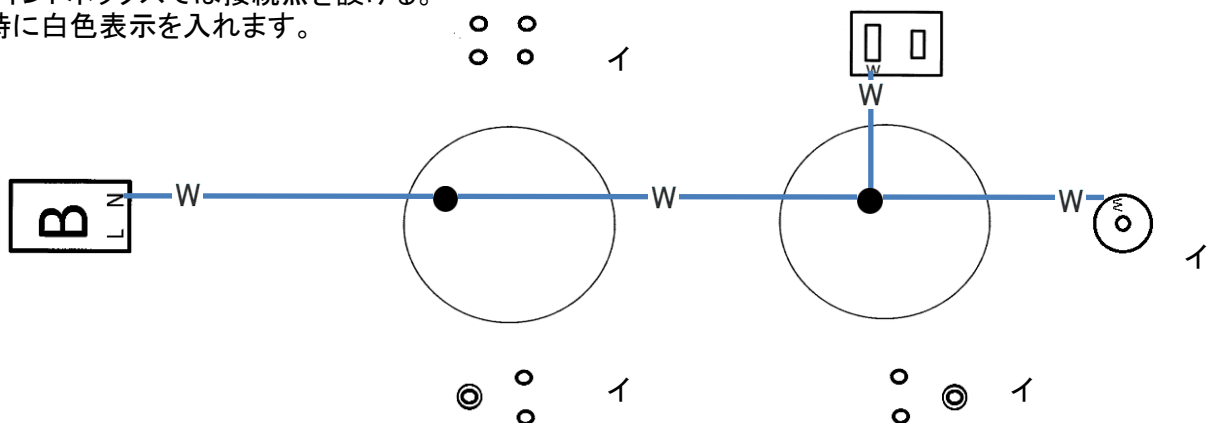
器具の絵は決まっていません。
自分が解るものを使いましょう
早く書けるものを使いましょう
配線は1色で書きましょう。
早く書くのが目的です。
色分けは好きに書きます。
ク(黒)
シ(白)
ア(赤)
ミ(緑)
B(ブラック) _____
W(ホワイト) _____
R(レッド) _____
G(グリーン) _____
正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。



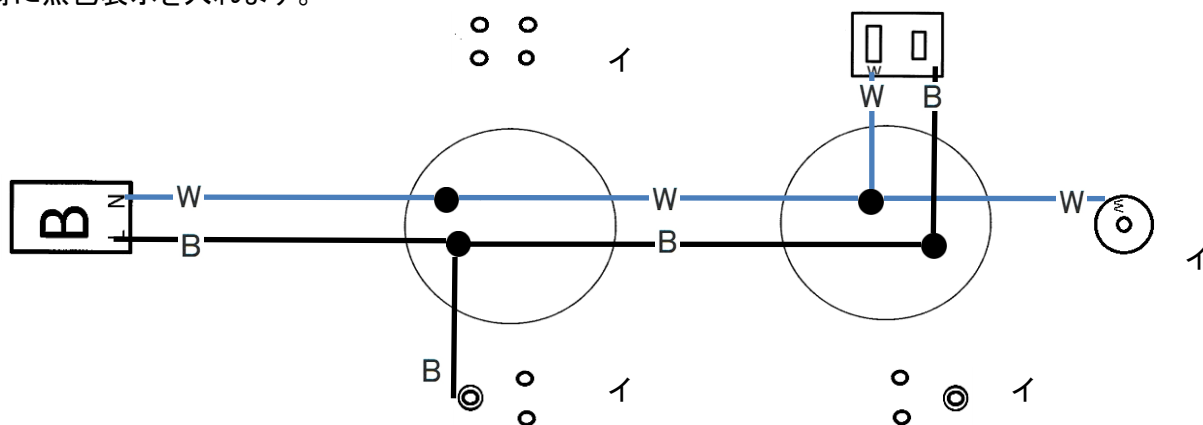
② 白線指定分を引きます。

配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部、コンセントのW側まで引き
ジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に白色表示を入れます。



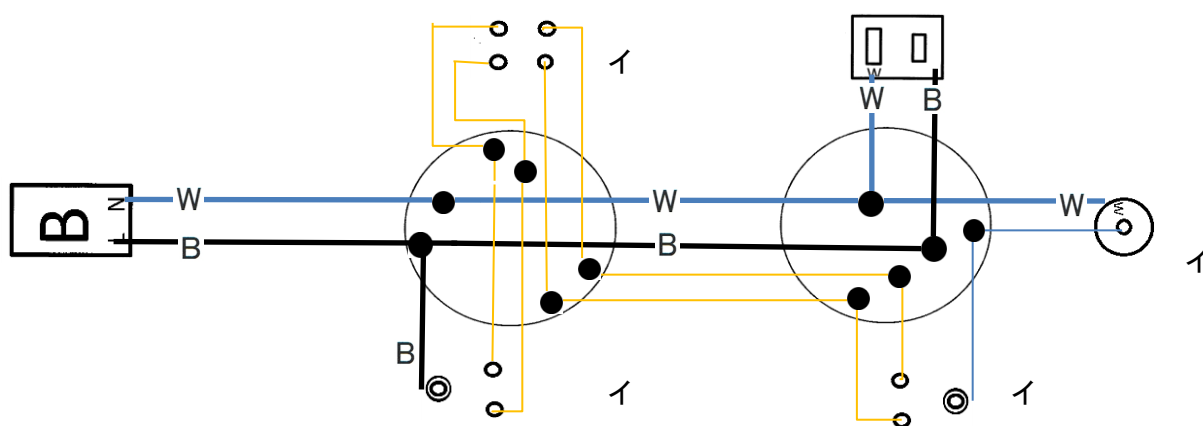
③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から三路スイッチの0番とコンセントへ引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に黒色表示を入れます。



④残りを引きます。

三路スイッチ、四路スイッチの1、3間2、4間を直接接続します。(1、3と2、4が逆に成っても大丈夫です。)

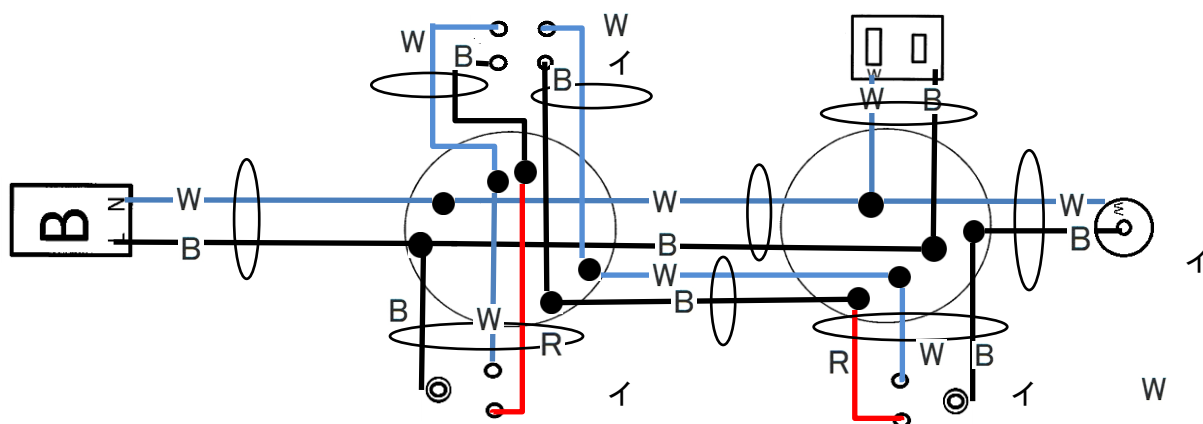


⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。

途中ジョイントされていてもコンセントのW側には白線だけで配線されている必要が有ります。

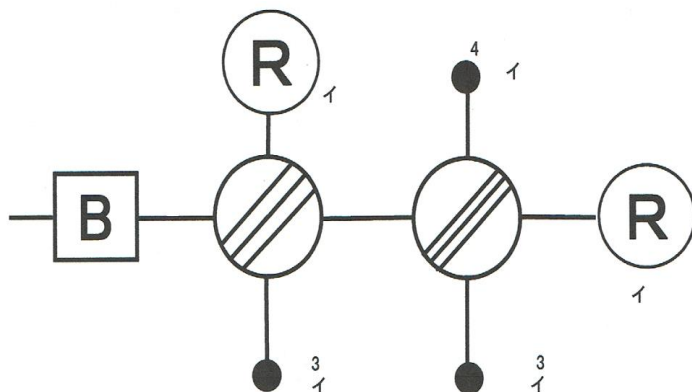
同じように途中ジョイントされていてもコンセントの黒線側には黒線だけで配線されている必要が有ります。



複線図の書き方 9

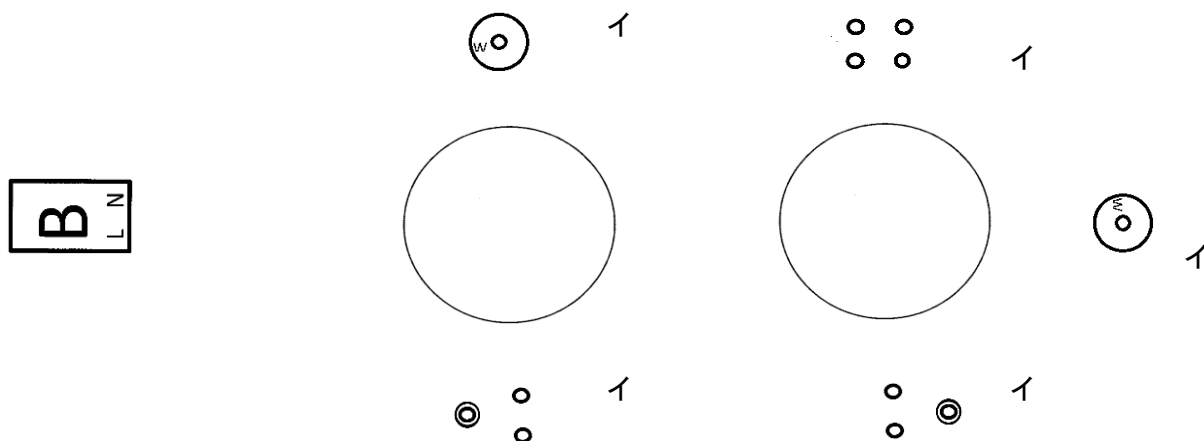
2個の三路スイッチ、1個の四路スイッチで3か所から2個の照明器具を入り切りする物です。
2個の照明器具の非接地線が繋がっていないとダメな事を理解ください。

単線図



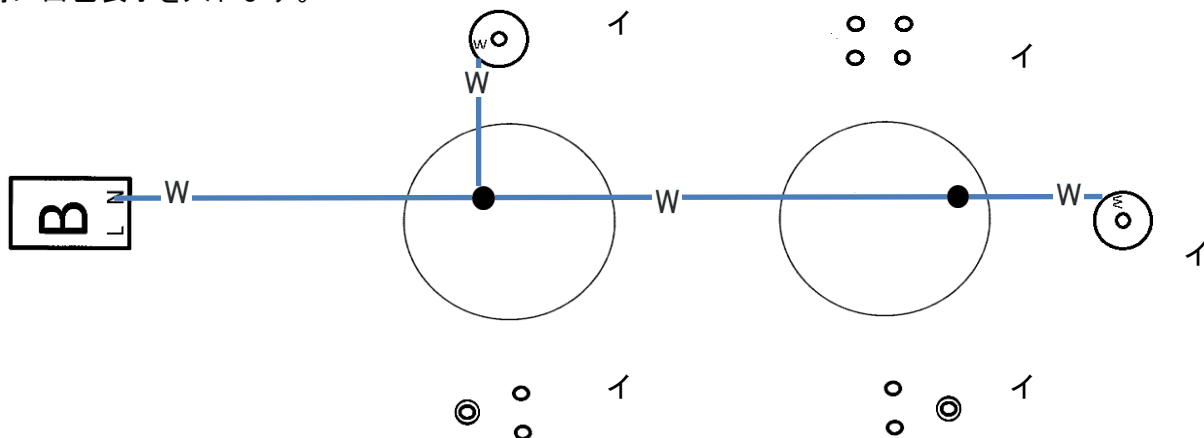
器具の絵は決まっています。
自分が解るものを使いましょう
早く書けるものを使いましょう
配線は1色で書きましょう。
早く書くのが目的です。
色分けは好きに書きます。
ク(黒)
シ(白)
ア(赤)
ミ(緑)
B(ブラック) 
W(ホワイト) 
R(レッド) 
G(グリーン) 
正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。



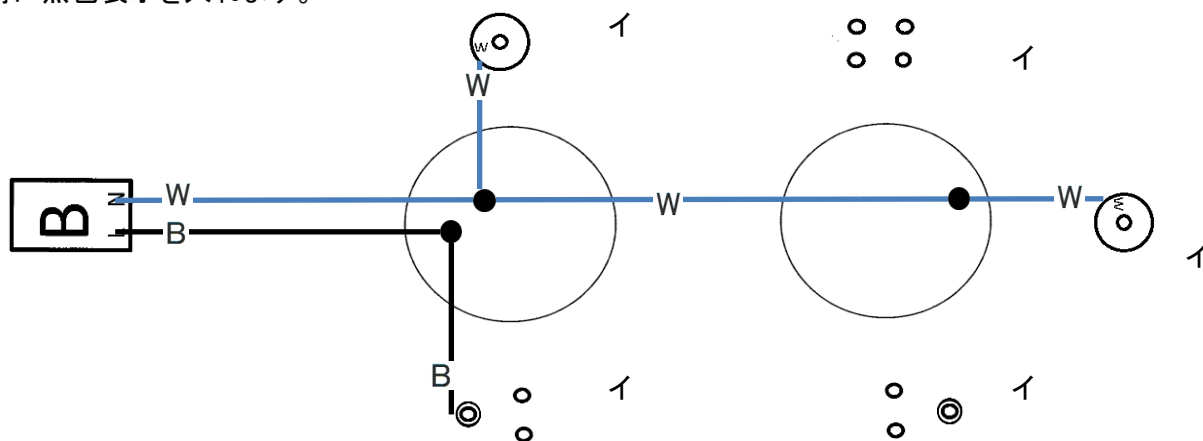
② 白線指定分を引きます。

配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部まで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に白色表示を入れます。



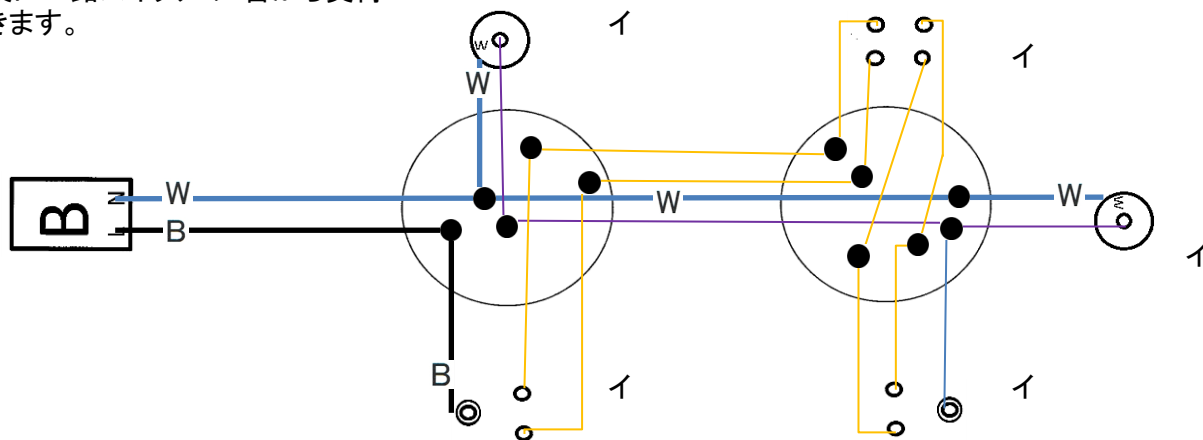
③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から三路スイッチの0番へ引きジョイントボックスでは接続点进行。同時に黑色表示を入れます。



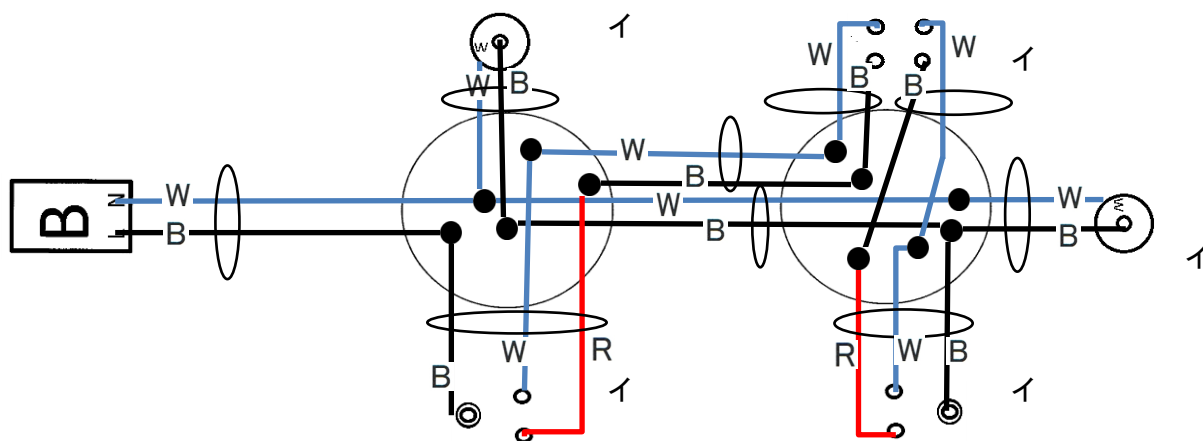
④残りを引きます。

三路スイッチ、四路スイッチの1、3間2、4間を直接接続します。(1、3と2、4が逆に成っても大丈夫です。→
負荷が2個有りますので負荷間渡りを引きます ————
最後に三路スイッチの0番から負荷へ
引きます。



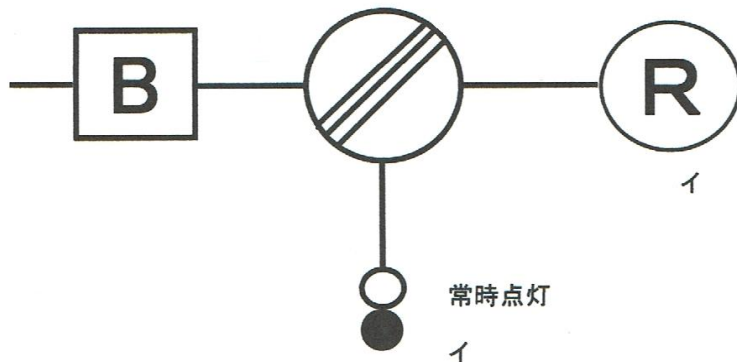
⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。



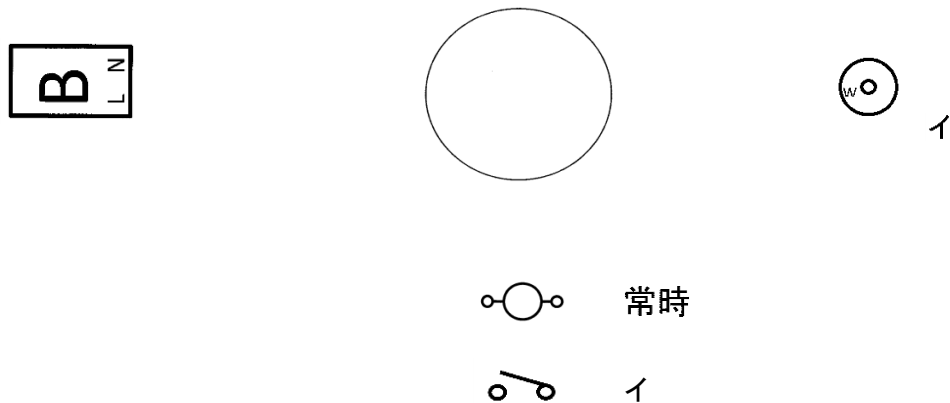
複線図の書き方 10

例題1に常時点灯のパイロットランプが追加に成っています。
 常時点灯のパイロットランプはコンセントと同じ配線が必要です。
 電源表示灯としての使用が考えられますが現実の工事では、あまり使う機会は無いです。
 単線図



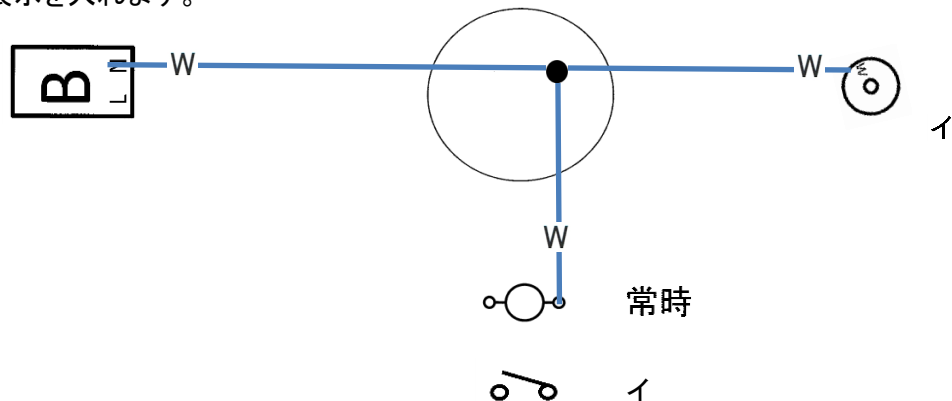
器具の絵は決まっています。
 自分が解るものを使いましょう
 早く書けるものを使いましょう
 配線は1色で書きましょう。
 早く書くのが目的です。
 色分けは好きに書きます。
 ク(黒)
 シ(白)
 ア(赤)
 ミ(緑)
 B(ブラック) _____
 W(ホワイト) _____
 R(レッド) _____
 G(グリーン) _____
 正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。



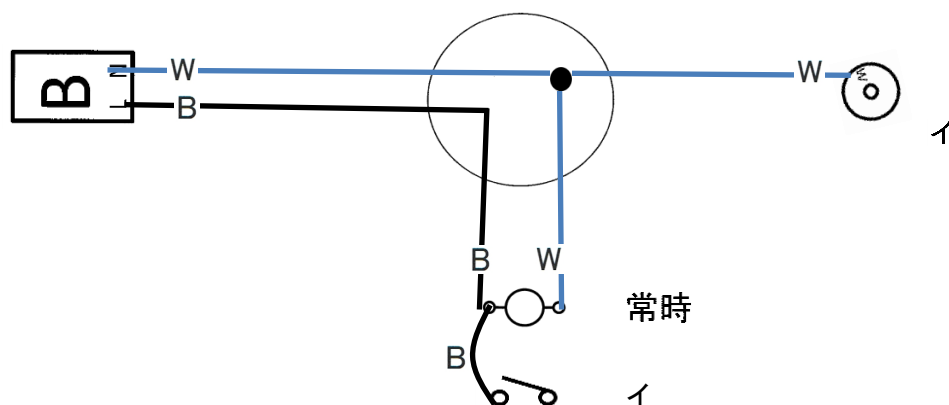
② 白線指定分を引きます。

配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部、パイロットランプまで引き
 ジョイントボックスでは接続点を設ける。
 常時点灯のパイロットランプはコンセントのイメージです。
 同時に白色表示を入れます。

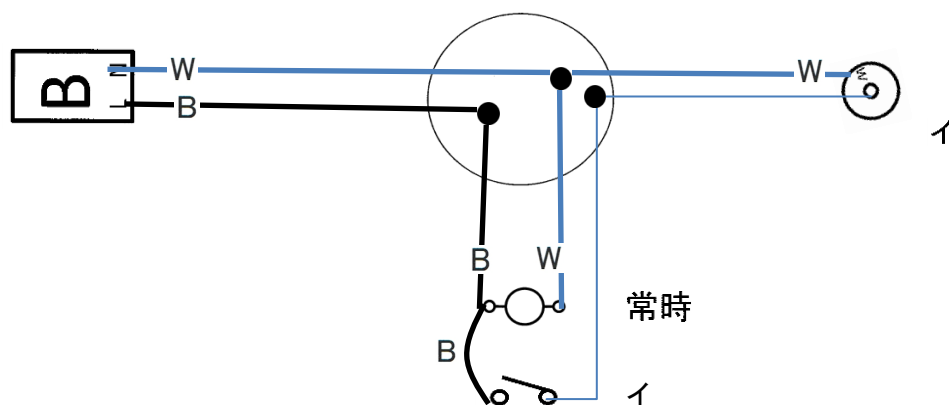


③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から片切スイッチ、パイロットランプまで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
常時点灯のパイロットランプはコンセントのイメージです。
同時に黒色表示を入れます。

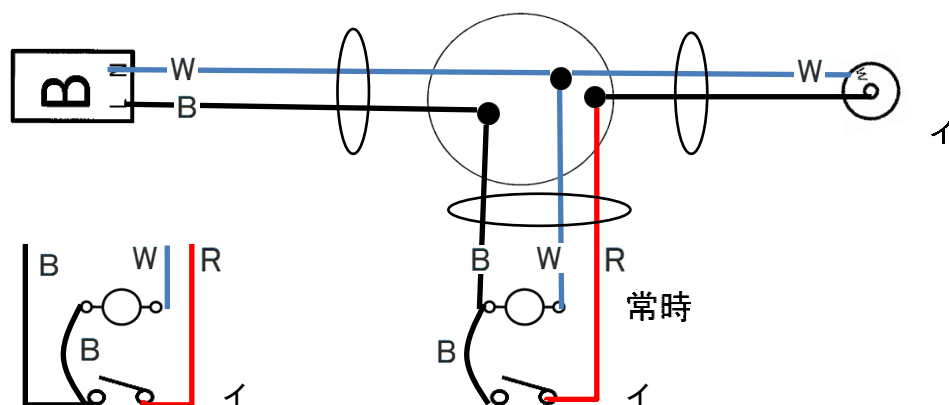


④残りを引きます。



⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。



配線はこの形でも大丈夫です。

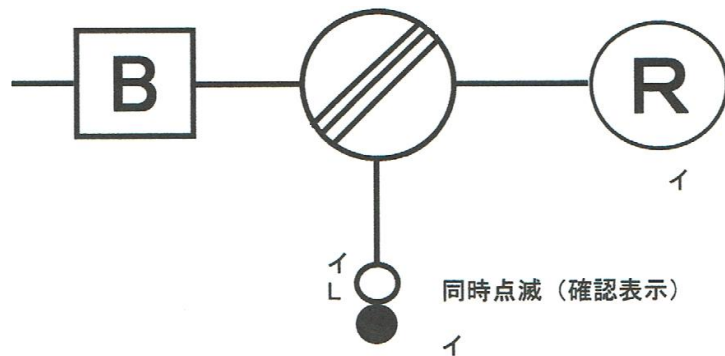
複線図の書き方 11

例題1に同時点滅のパイロットランプを追加したものです。

同時点滅のパイロットランプは負荷の照明器具と同じ配線に成る必要が有ります。

負荷として照明器具を想定していますが、照明器具は自身の発光として認知されるため、実際は換気扇などの運転確認表示灯としての使用が考えられます。

単線図



器具の絵は決まっています。

自分が解るものを使いましょう

早く書けるものを使いましょう

配線は1色で書きましょう。

早く書くのが目的です。

色分けは好きに書きます。

ク(黒)

シ(白)

ア(赤)

ミ(緑)

B(ブラック)

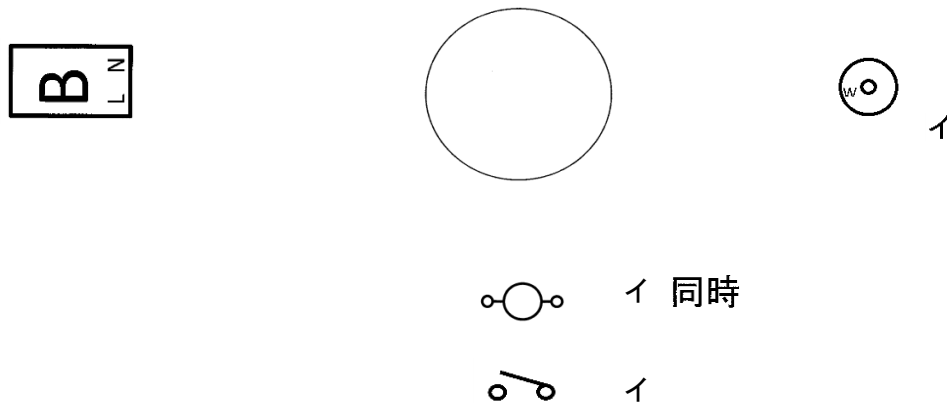
W(ホワイト)

R(レッド)

G(グリーン)

正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。



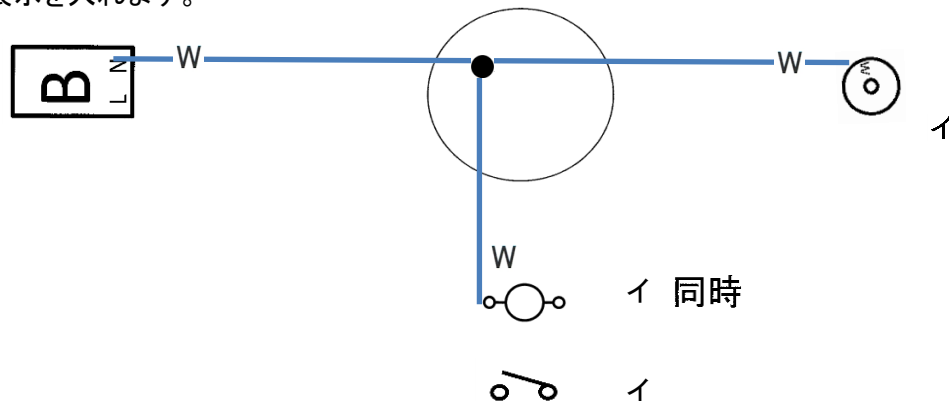
② 白線指定分を引きます。

配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部、パイロットランプまで引き

ジョイントボックスでは接続点を設ける。

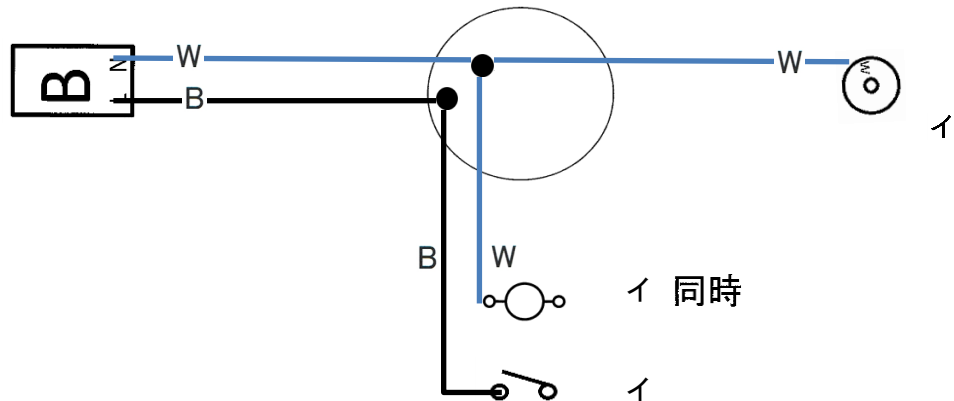
同時点滅のパイロットランプは負荷と同じ接続に成ります。

同時に白色表示を入れます。



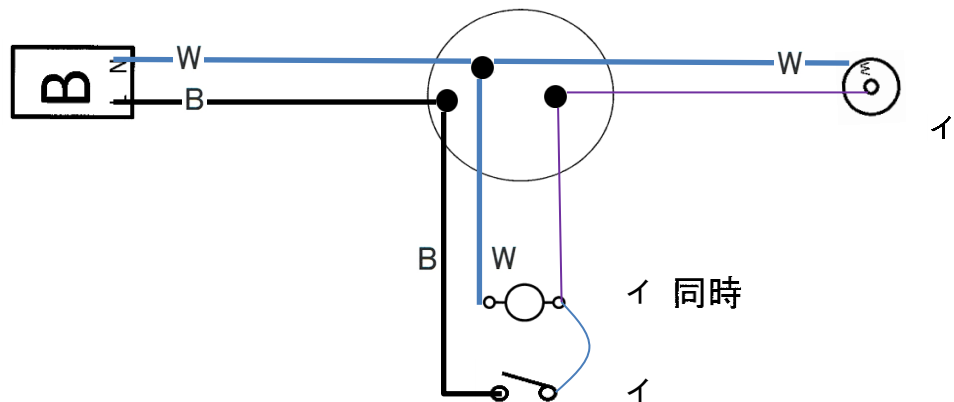
③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から片切スイッチまで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
同時に黒色表示を入れます。



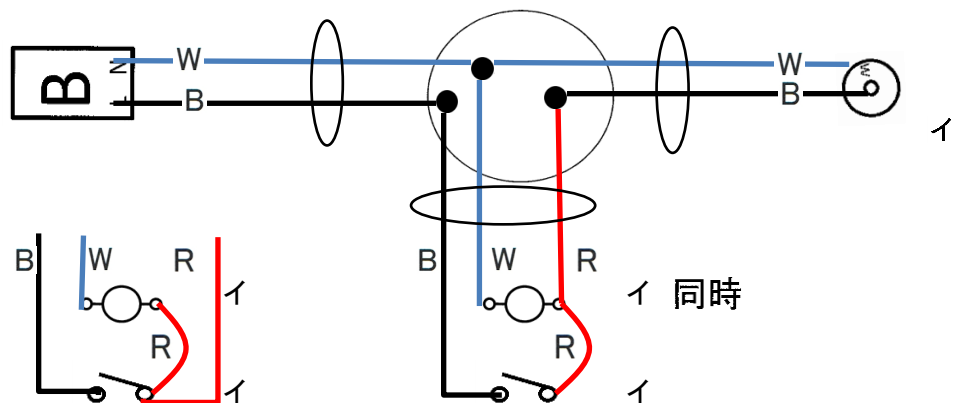
④残りを引きます。

同時点滅のパイロットランプは負荷と同じですので負荷間渡りを引きます——
最後に片切スイッチから負荷への配線を引きます。



⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。



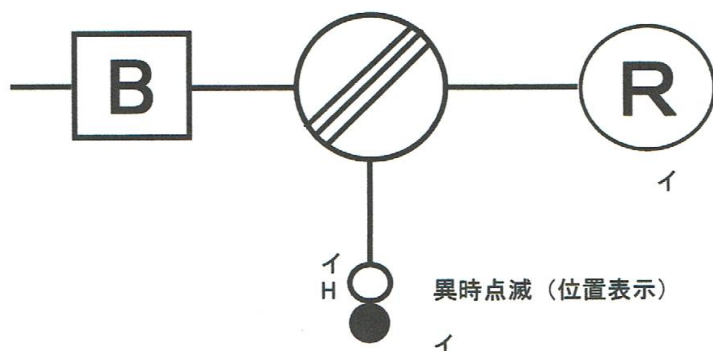
配線はこの形でも大丈夫です。赤色渡り線は指定がない部分ですが接続部が同色の方が間違いが少ないので赤色を使います。

複線図の書き方 12

例題1に異時点滅のパイロットランプが追加に成ったものです。

スイッチの位置を暗闇で知らせるものですが、スイッチと並列にパイロットランプを接続しますが、スイッチを切ると並列に接続されたパイロットランプの微弱な電流が負荷の照明を通して流れ、点灯します。位置表示灯内蔵片切スイッチ(通称蛍スイッチ)としてよく使われています。

単線図



器具の絵は決まっています。

自分が解るものを使いましょう

早く書けるものを使いましょう

配線は1色で書きましょう。

早く書くのが目的です。

色分けは好きに書きます。

ク(黒)

シ(白)

ア(赤)

ミ(緑)

B(ブラック)

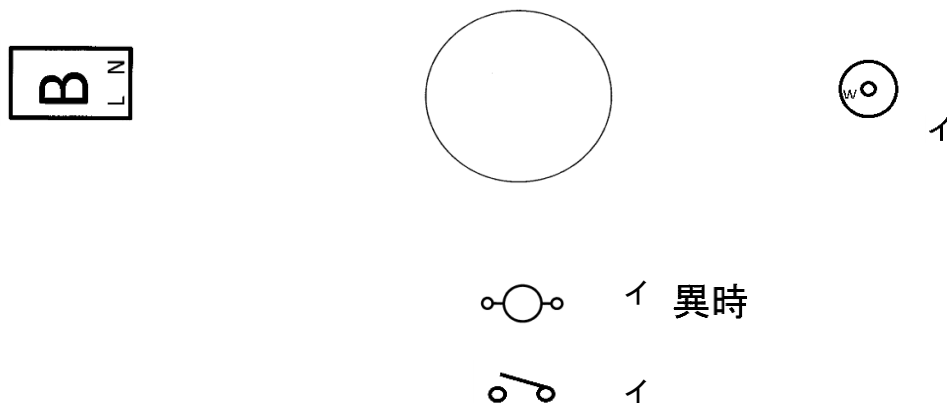
W(ホワイト)

R(レッド)

G(グリーン)

正しく、そして早く書きます。

① 先ず器具を配置します。

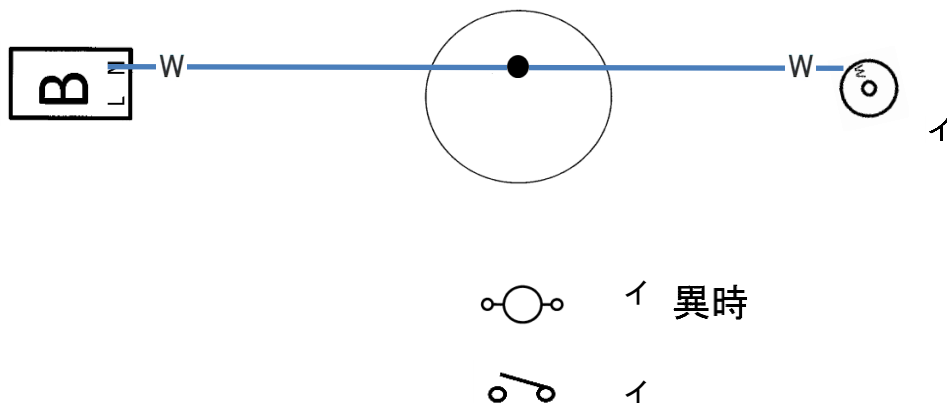


② 白線指定分を引きます。

配線用遮断器のN側からランプレセプタクルの受金部まで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。

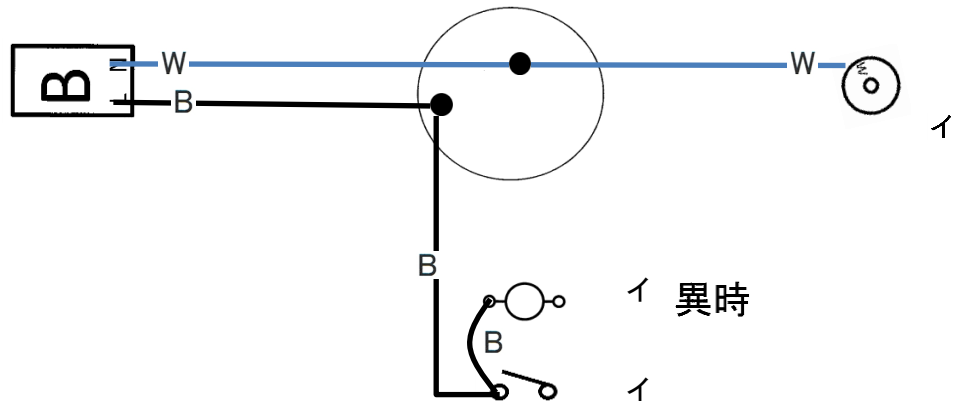
異時点滅のパイロットランプはスイッチをバイパスする形に成ります。

同時に白色表示を入れます。



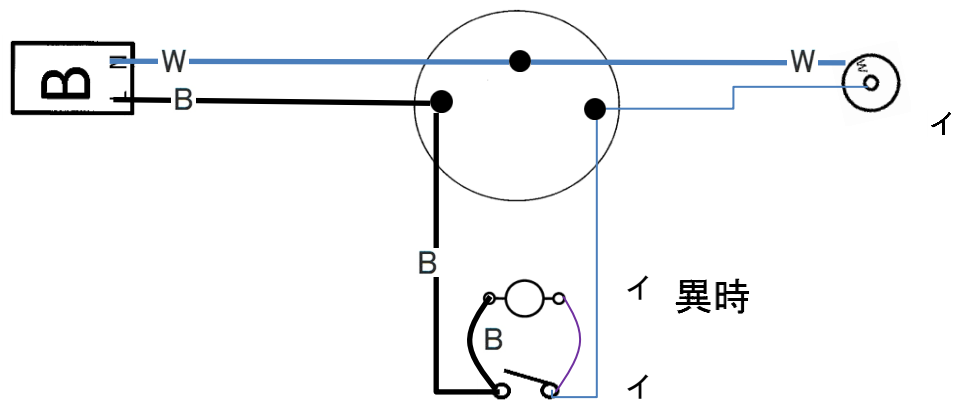
③黒線指定分を引きます。

配線用遮断器のL側から片切スイッチまで引きジョイントボックスでは接続点を設ける。
異時点滅のパイロットランプはスイッチをバイパスする形に成るので黒色で渡りを入れます。
同時に黒色表示を入れます。



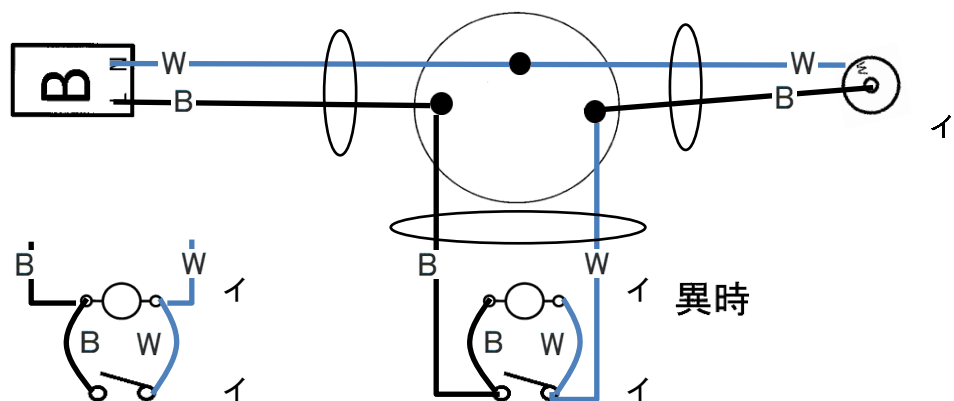
④残りを引きます。

パイロットランプと片切スイッチの渡りを引きます
最後に片切スイッチから負荷への配線を引きます。



⑤ケーブルの印を入れペアの色を入れます。

ケーブル心線数が決まれば指定色を除いた残りが色に決まります。



配線はこの形でも大丈夫です。白色渡り線は指定がない部分ですが接続部が同色の方が間違いが少ないので白色を使います。